

## 令和5年度 第3回吹田市政策会議概要

日 時：令和5年6月12日（月）午後3時50分～午後4時15分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

出席者：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、西川教育長、小西総務部長、  
今峰行政経営部長、大山福祉部長、梅森健康医療部長

所 管：【児童部（保育幼稚園室）】

北澤児童部長、中村室長、武田参事、須之内主幹

案 件	第2子の保育料無償化
担当及び関連部局	児童部（保育幼稚園室）
<b>【案件概要】</b> 子育て世帯の経済的な負担の軽減及び少子化対策に資する取組として、認可保育所等における0歳～2歳児の保育料について、世帯の収入に関係なく生計を一にする全ての子をカウントしたうえで、第2子分を無償化するもの。	
<b>【所管部の考え方】</b> 認可保育所等の保育料については、令和元年（2019年）10月から国制度により、3歳～5歳児については無償化されているが、0歳～2歳児については、第1子は全額、第2子は半額、第3子以降は無償となっている。市として、子育て世帯の経済的な負担の軽減及び少子化対策に資する取組として、きょうだいカウントの方法を変更したうえで、第2子の保育料を無償化する。	
<b>【質疑概要】</b> 質問： なぜ令和6年度（2024年度）から第2子の保育料無償化等を実施するのか。 回答： 保育料軽減については、以前から保護者から要望があり、実施を検討していた。令和5年（2023年）1月に東京都が第2子の保育料無償化について発表した後、本市近隣市においても同様の取組が実施され、本市としても保護者のニーズや周知期間を踏まえ、令和6年度から実施することが適切と考えている。  意見： 所得制限なしで実施することは、出産後も仕事をしたいという人が、所得に関わらず支援を受けられるようになり、女性活躍推進にもつながると考える。  意見： 国制度では、0歳～2歳児の保育料の全員無償化には至っていない。しかし、子供が3歳になるまで仕事を休職することは、現実的には難しい場合が多い。少子化対策は主に国レベルで取り組むものではあるが、市としても第2子の保育料無償化を実施し、子育て世帯の負担軽減を図る必要がある。	
<b>【結果】</b> 本件は承認された。会議で出た意見を踏まえて取組を進めること。	